

# スピリチュアル物語

## 138話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

### 魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

Skypeセッション 1時間\$75

メール相談 3コース \$11、\$22、\$33



「ところで134話で話題に出たまま保留になっている、レオナルド・ダ・ヴィンチさんが異星人と関わっていたのではないかという話の続きをそろそろお願いします」マジョリアルがマグワートにリクエスト。「OK。134話で触れた『受胎告知』を師匠のヴェロッキオと共に描いたのが、彼が二十歳だった1472年〜3年間くらいとされておるんじやが、その直後、彼が丁度画家として注目され始めた時期1476年〜1478年の間、一説にはカタルーニャのモンセラットを訪れていたのではな

いか、とも言われておるが、何処で何をしていたのか作品や居住地に関する記録が残っておらず、全くの消息不明とも言えるんじや。」「画家として注目され始めた大事な時期に？」ウィザットが首を傾げる。「でも：消息不明イコール異星人と：ってというのは飛躍し過ぎなのでは？」マジョリアルも首を傾げる。「それが：そう言われるのには理由があるんじや。彼の絵画は言うまでもなく素晴らしい芸術作品じやが、それだけに留まらず数学・科学・化学・物理学・天文学・解剖学・建築・軍事工学等に長けていて、当時誰も考えも及ばない口

ボットやヘリコプター等の発明アイデアを設計図と共に鏡文字という手法で書き残しており、更には、イーモラという町の地図を丸で空撮したかの様な精度で作成しておるんじや。それらの偉業を成しえたのは、彼が行方不明になっていた間に異星人とコンタクトしていたからじゃないか：と、まあ、これは一つの都市伝説的浪漫かも知れんが興味深い話じやろ？」



★これまでのお話(1~137話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

[www.majotomoe.com](http://www.majotomoe.com) 6月25日号につづく